

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実	施策の目的	快適な都市環境の整備を進める	施策	上水道
-------	---------	-------	----------------	----	-----

主要事業と関連部署

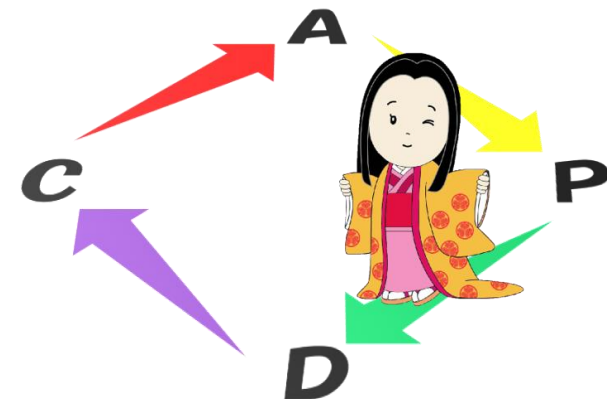
施策の方向	事業名	部署名
水源の確保と水質の管理	水道事業における水質管理	水道課
水道運営事業の健全化	上水道の加入促進	水道課

目標

指標名	指標の考え方	方向性	2017年	2022年
上水道に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	33.3%	38.3%
上水道普及率	市総人口に対する上水道の給水を受けている人口の割合	加入促進により普及率の向上を目指す。	91.1%	増加

令和2年度の実施状況への意見

行政改革懇談会（市民）からの意見
継続して上水道未加入世帯の加入促進を図りたい。
目標の達成状況 ♡♡♡



事業の説明

事業名	水道事業における水質管理		
担当	水道課		
予算科目	水道事業会計		
	1款	1項	1目
事業の目的	水質管理の一環として水質検査を実施し、基準に適合した水であることを確認することで、安全かつ良質で信頼できる水道水を供給する。		

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実
施策の目標	快適な都市環境の整備を進める
施策	上水道
施策の方向	水源の確保と水質の管理

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	1,766千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		0回
実施内容と改善点		
毎月の水質検査に加え、年1回の原水検査を実施する。また、検査頻度が緩和できる項目については検査回数を減らさずに実施するほか、色及び濁り、残留塩素濃度に関する検査を毎日実施するように改善し、水質管理の精度向上に努める。		

令和2年度	決算額	1,441千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		0回
当初の成果目標		1回
実施内容と改善点		
毎月の水質検査に加え、年1回の原水検査を実施した。また、検査頻度が緩和できる項目については検査回数を減らさずに実施したほか、令和2年9月より土日・祝祭日における色及び濁り、残留塩素濃度に関する検査を実施するように改善し、水質管理の精度向上に努めた。		

令和元年度	決算額	1,382千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		0回
当初の成果目標		1回

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	独自の取組みにより水質管理の精度を向上させたことで、より安全安心な水道水を供給することができた。
分析	水質基準が年々厳しくなり、新たな検査項目も追加されることから、水質検査の高い精度管理と水源から給水栓までの総合的な水質管理が必要になる。水質検査を実施することは、水道水の安全性の確認だけでなく、その水質管理資料に基づき、浄水処理の向上にもつながると考える。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		回
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
回		回

事業の説明

事業名	上水道の加入促進			事業の目的	加入者の増加により水道料金収益の増収を図り、水道事業経営の安定に寄与する。
担当	水道課業務係				
予算科目	水道事業会計				
	1款	1項	3目		

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実
施策の目標	快適な都市環境の整備を進める
施策	上水道
施策の方向	水道運営事業の健全化

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	0千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		94.9 %
実施内容と改善点		
新規加入者への基本料金12か月分の減免制度を継続する。上水道未使用の世帯への戸別訪問は、新型コロナウイルス感染症の状況等を見極め予防措置を講じたうえで、実施について判断する。		

令和2年度	決算額	0千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		92.4 %
当初の成果目標		- %
実施内容と改善点		
新規の水道加入者に対して、基本料金12か月分を減免することで、加入を促した(本年度減免総額は7,642千円)。併せて、地区を定めて未使用の世帯に戸別訪問して実施する普及啓発活動については新型コロナウイルス感染症の影響から実施できなかったが、代替として文書配布による加入促進活動を実施した。		

令和元年度	決算額	0千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		92.6 %
当初の成果目標		- %

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、上水道未使用の世帯に対する戸別訪問は実施できなかった。指標である水道普及率は前年度の数値よりわずかに下回っている。
分析	普及率が前年を下回った要因として、市の人口が減少局面に入っており、世帯当たりの人数も減少していることが考えられる。ただし前年比で加入世帯数自体は20,714世帯(前年比+349世帯)と増加しており、水道料金収益も増加した。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%